キャンパス NOW 2014

Top Interview トップに聞く

## 生え抜き女性トップ誕生 法政大学
# 田中優子総長

HOSEI University

法政大学（東京都千代田区）は3日、東京・九段の日本武道館で入学式を開く。1日に社会学部長から総長に就任したばかりの田中優子氏が新入生を迎える。東京六大学初の女性総長として注目を集めるが、江戸文化研究の第一人者であり、テレビのコメンテーターとしても高い知名度を誇る。そして、何より同大の生え抜きの総長誕生に関係者の期待は高まる。同大OBでもある成田淳毎日新聞社コンテンツ事業本部長が、田中氏が目指す法政大像を聞いた。【構成・河嶋浩司】

# 世界生き抜く力を

たなか・ゆうこ　1952年1月生まれ。74年法政大学文学部卒。80年同大学大学院日本文学専攻博士課程単位取得満期退学。文学修士。同大学第1教養部教授を経て2012年4月社会学部長。14年4月、総長に就任。00年度芸術選奨文部科学大臣賞、05年度紫綬褒章。主な著書に「江戸の想像力」「江戸百夢」。専門分野は日本近世文化・アジア比較文化。サントリー芸術財団理事。

### 発信力高める努力

――法政の歴史を振り返れば、民法典論争に加わるなど日本という国を造っていくという気概にあふれた歴史と伝統を持った大学です。都心にキャンパスを構え、優秀な学生が集まり、大勢のOBを社会に輩出している。だが、OBとして見ると、その良さをきちんと社会に伝え切れていなかったとの印象を受けます。

私が（総長選に）立つことになったひとつの理由は、発信力を高めることでした。法政大は学生の力がどんどん伸びてきています。いわゆる研究者だけではなく、マスコミを含む企業からも入っていただいて実践的な教育をしてくれる教員が増えるなど時代に即応しているのですが、そのどちらも伝わっていない気がしています。

歴史を見れば、法学部を中心に民主主義的な国を造っていくにはどうしたらいいか、戦前から尽力してきました。中国の清の時代に留学生をたくさん受け入れて、それが辛亥革命につながるわけです。つまりアジアを変えていったのです。日本の民主主義を準備しただけではなく、アジアの民主主義も準備したと私は思っています。一人一人の教員がかなり努力をして、その結果として今の大学が出来上がってきました。そのことが伝わっていない残念な状況はあると思います。

### 英語教育を強化

――日本の大学はグローバル化を掲げ、変革の中にありますが、考え方が一面的過ぎないかと思っています。法政大はどのようなグローバル化を進めようと考えていますか。

歴史から考えると、アジアとの関係を大事にすることが法政大の伝統に合ったいい方法だと思っています。すでに国際日本学インスティテュートという大学院を作り、欧米人や中国人の教員を迎え、中国・韓国からの留学生もたくさん受け入れています。法政の歴史を学部学生に教える「法政学」を始めるなど、忘れられていた記憶を取り戻す取り組みも進めています。

アジアにはタイ語、ミャンマー語など多様な言語がありますので、ASEAN（東南アジア諸国連合）諸国では英語が共通語になっています。英語はインターネットにアクセスするためにも非常に重要な道具です。アジアと交流するためにも必要な言語として、位置づけています。

すでに一部の学部ではスタートしていますが、2015年からは全てのキャンパスで、英語による講義を行い、さらに多くの留学生を受け入れます。教員も学生も、英語をネーティブ（母国語）としない留学生も、英語で自分の考えていることを話すことで、アジア・アフリカを含めた世界の人々と意思疎通できると実感していくでしょう。

法政大は支援制度もあり、学生の留学は他大学と比べても多く、短期間でも留学すると、生きる上で何が必要かを実感して帰ってきます。大学としてもそうした学生をフォローし、次のステップを経験させることが必要です。それによって自分の考えを持つようになると思います。

### 教員の意識改革も

――新たな価値を創造していくことも大事ですね。

その際に必要になってくるのが日本についての知識です。日本のことが分かっていなければ、英語がいくらできても中身がありません。日本のことをどのように教育していくのか。日本文化、日本の社会、現在の日本の問題、経済のことなど、それぞれ教員が持っている知識を教員が英語で留学生に伝えられるようにならなければならない状況になっています。教員も意識改革を求められています。しかし、これから必要なのは精神主義ではなく、自由に学べる研修制度だと私は思っています。

英語に加えて、アジアのことも教員に知ってもらいたいですね。これまでは専門家に任せていましたが、日本を教える教員こそ、アジアを知ることで知識がより深まります。

さらに、大学は社会人を受け入れる体制を整えることが重要になってきます。すでに一部で実施していますが、あらゆる学部に広げるべきです。社会人が何を求めているかといえば、時代に即応した教育ですから、それに応えられるような教育システムや教員の心構えが必要です。

――大学の果たすべき役割は、かつてのような学問のための学問ではなく、外国にも、社会にも開かれた役割が求められる時代といえますね。

そうだと思います。ですから単に知識を持つことではなくて、その時々に必要な知識を得る方法を知ることが大事です。学生のみなさんには、その心構えや方法を大学で学んでほしいのです。

民主主義は一人一人の人間が自分で調べ、自分で確認し、自分で考えないと確立されない。そうした自覚を持った「市民」が多くなって初めて、民主主義国家と言えるわけです。そして、その市民を育てるのが大学の責務だと思っています。

そこで、「市民の力を創っていく大学」「世界のどこでも生きていける学生を育てる大学」を法政大のこれからのテーマに掲げたいと考えています。

研究の上では「持続可能社会を創る」ことが最重要課題です。カリキュラムをいじればいいということではなく、教員も変わらなければなりません。大学も教員も学生も変われるし、変わってほしい。私はそのメッセージを届け続けたいと思っています。

### 自由と進歩の学風 1880（明治13）年創立

法律家の金丸鉄、伊藤修、薩埵正邦らが東京法学社を設立

＜キャンパス＞
市ケ谷（写真上）＝〒102－8160
東京都千代田区富士見2の17の1
多摩＝〒194－0298東京都町田市相原町4342
小金井＝〒184－8584
東京都小金井市梶野町3の7の2

＜設置学部＞
法学部、文学部、経済学部、社会学部、経営学部、国際文化学部、人間環境学部、現代福祉学部、情報科学部、キャリアデザイン学部、デザイン工学部、理工学部、生命科学部、GIS（グローバル教養学部）、スポーツ健康学部

＜学部学生数＞2万7115人
（男1万7754人／女9361人）2013年5月1日現在

＜問い合わせ先＞
広報課（☎03・3264・9240）
E-mail:pr@adm.hosei.ac.jp
URL＝http://www.hosei.ac.jp/

田中新総長が新入生に呼び掛けるメッセージを動画で見ることができます。毎日AR（無料アプリ）をダウンロードしたスマートフォンなどの携帯端末で、アプリを起動したままで写真にかざします。「loading」の文字が出てきたら、画面をタップすると動画が始まります。

## 女性のリーダーシップ前面に

サンデー毎日編集部　中根正義編集次長（教育担当）

法政大の前身は東京法学社で1880（明治13）年に創立された。自由民権運動が高まりを見せていた時代で、翌年に東京法学校と改称され、専修学校（現・専修大）、明治法律学校（現・明治大）、東京専門学校（現・早稲田大）、英吉利法律学校（現・中央大）とともに五大法律学校として知られていた。

「自由と進歩」という学風は、明治政府に法律顧問として招かれ、「日本近代法の父」と称されるボアソナード博士によるフランス法の精神を受け継いだものだ。同氏は教頭として教鞭（きょうべん）を執り、今日の礎を築いた人物として、市ケ谷キャンパスにある27階建ての超高層校舎にその名をとどめる。

創立から130年余。現在、市ケ谷、多摩、小金井の3キャンパスに計15学部、約2万7000人の学生が学ぶ。法、経済などの学部に加え、国際文化、人間環境、現代福祉、キャリアデザイン、グローバル教養、デザイン工、スポーツ健康といった時代に即した学部を設置。グローバル対応では年間800人以上の学生を海外に送り出す。

4月に総長に就任した田中優子氏は、江戸学の研究者として実績があり、知名度も抜群だ。ここ数年、他のライバル校に比べ、やや存在感が薄かった法政大だけに、東京六大学初の女性総長の登場に注目が集まる。同大の生え抜きとして長所、短所を知り尽くしているだけに、そのリーダーシップが期待される。

## TOPICS

このコーナーは大学が取り組む「国際化」「地域連携」などのテーマごとに、各大学の活動を紹介します。

### 国連機関のボランティア体験報告

国連ボランティア計画（UNV、ドイツ・ボン市）と関西学院大学など6大学が3月27日、国連大学（東京都渋谷区）で国連機関でのボランティア活動に参加した学生らの活動報告会を開いた＝写真。

UNVと関西学院大は開発途上国に学生を6カ月間派遣する国連ユースボランティアプログラムの協定を締結。首都圏の上智、明治、明治学院、東洋、立教の5大学も加わり、2013年から実施している。13年度は12人の学生が参加。関西学院大にある派遣訓練センターで研修を受けて、アジア、アフリカなどの国連機関でボランティアを体験した。

報告会ではUNVが同プログラムの狙いなどについて説明し、参加者らが現地での体験を報告した。

### 安全・安心社会 都内でセミナー

関西大

関西大学社会安全学部は、4月10日～7月31日の毎週木曜に、首都直下地震など多岐にわたるテーマの連続セミナー「安全・安心社会と社会安全学」を、関西大学東京センター（東京都千代田区丸の内）で開催する。

セミナーはいずれも午後6時～7時50分。「群集事故～人ごみに潜む危険～」「企業のリスクマネジメント」など16テーマについて専任教員が講義する。受講料は通期1万円、定員100人（先着順）。申し込みの際は同学部（☎072・684・4000）に問い合わせる。


ニュースを、さわろう。

毎日スポニチ TAP-i for SMARTPHONE, TABLET
900円（税込）/月
［毎日新聞併読価格］500円（税込）/月
詳しくはTAP-i総合サイト
http://www.mainichi.co.jp/tap-i/

お好きなコースの賞品を、選んで当てよう！
毎日新聞 ご愛読者 トクトクキャンペーン
毎日新聞ご愛読者限定 総計1,000名様［遊・食・活コース 300名様 クオカード700名様］に当たる!!
2014.2/21（金）～5/6（火）
毎日新聞を新規ご購読または現在ご購読中の方なら
愛読者会員登録でビッグチャンス!!

遊コース
●ニンテンドー3DS LL
●折りたたみ自転車 アサヒサイクル クレイズ206
●JTB旅行券 NICE TRIP（2万円分）
※ニンテンドー3DSは任天堂の商標です。

食コース
●旬のフルーツ2種 佐藤錦2Lサイズ桐箱入り、宮崎完熟マンゴー 3Lサイズ2玉
●松阪牛 すき焼き用肩ロース肉、すき焼き用肩肉 各400g
●南魚沼産コシヒカリ20kg 2kg×10袋
※気象状況などにより賞品内容が変更となる場合があります。

活コース
●レイコップ ふとんクリーナー
●PHILIPS（フィリップス） ノンフライヤー
●LE CREUSET（ル・クルーゼ） ココット・ロンド（22cm）

コース賞品の抽選にはずれた方の中から、さらに抽選でクオカード（1,000円分）をプレゼント！ ダブルチャンス!!

キャンペーンの詳しい情報は 毎日新聞 愛読者セット 検索 http://mainichi.jp/info
※スマートフォン・タブレット端末のみご利用になれます。携帯電話からはご利用になれません。

ネットで簡単登録 購読料だけ ご愛読者限定
毎日新聞 愛読者セット
「愛読者セット」なら、毎日新聞のニュースが、パソコン、タブレット、スマートフォンで読める。
紙面ビューアーでいつでもどこでも新聞をお届け。文字拡大でらくらく閲覧。
全国の地域面が読める。ふるさとやゆかりの地域のニュースをチェック。（※沖縄県を除く）

お申し込みは 毎日新聞 愛読者セット 検索 http://mainichi.jp/info
お問い合わせ 愛読者センター 0120-949-528 携帯電話・PHS 050-5855-1410
午前10:00～午後5:00／土日祝日、年末年始を除く
抽選方法・結果に関するお問い合わせにはお答えできません。